

撮って、撮って、撮りまくれっ!!

12月7日(日)アニメーション制作講座「スマホ／タブレットでつくるコマ撮りアニメ」が行われました。毎年、すぐに定員に達する大人気の講座です。

事前に考えてきたお話にさらに内容を膨らませて、どんな場所にキャラクターがいるのかや、何をやっているかなど考えます。

それを【絵コンテ】という設計図で目に見える形にしたあとに、いよいよ撮影を行います。

撮影はキャラクターを少しずつ動かしながらすすめます。1秒のシーンを撮るのに5、6枚の写真が必要です。30秒から1分の動画を撮るのに200枚以上

の計算になります。撮って撮って撮りまくりました。

撮り終わると音楽をつけたり、SE(Sound Effect)という効果音を入れて完成です。アニメーションをつくるのって、とっても大変！だけどおもしろい！

by SAKANA特派員



お気に入りのぬいぐるみたちが動いちゃう！

今年度の参加者作品は

NPOたけとよの

Youtubeチャンネルから

<https://www.youtube.com/@npo4961>



みんな上手にできよねー☆



好奇心の種が膨らむ時

12月14日(日)サイエンスワールド(瑞浪市)から講師を招き「サイエンス・ワンダーランド2025『最強なのはバランスだ！レシプロカル構造とテンセグリティ構造に挑戦』」が開催されました。

早くから受付予約がいっぱいになるほどの人気講座で、参加者は小学生から大人まで幅広い年齢層でした。



ランダムなようだけど、計算されている不思議な構造

まずは「テンセグリティ構造」を学び、「浮かぶテーブル」を作りました。テンセグリティ構造とは、糸などでバランスよく引っ張り合うことで、部材が離れて浮いているように見える不思議な仕組みです。

続いて「レシプロカル構造」を学び、体験しました。アイスの棒のような材料を組み合わせ、崩れないようにどんどん大きくしていきます。最初は基本となる「3本の棒を組み合わせた三角形」からスタートし、次第に巨大で立体的な形へと膨らませていきました。

「もっと大きくできるかも！」「ここを繋げたらどうなる？」と声を上げながら、参加者はバランスを取りつつ組み立てを進めました。平面だったものが、いつの間にか立体的に膨らみ、ドーム状の姿へと変化。はじめは手こずっていた皆さんも、形が連鎖して広がっていく面白さに夢中になり、時間を忘れてと

お家に帰ってからも「どうして浮いているんだろう？」「どうして支え合っているんだろう？」とご家族で会話が弾むきっかけになれば、大変うれしく思います。バラバラの材料が知恵と工夫で「驚き」に変わり、好奇心の種がさらに大きく膨らんでいくことを願っています。



カメラに気づかないくらいみんな真剣！

パーツが引っ張り合ってバランスを取る



by NPOたけとよ理事長 左右木星志

